

総合計画進行管理シート

戦略 PJ名	育てる2 外国人市民が活躍する多文化 共生のまちづくりプロジェクト		主管課	市民活動推進課	関係課	—
-----------	--------------------------------------	--	-----	---------	-----	---

取り組みの方向		外国人市民への行政サービスの充実						
取り組みの展開								
内 容	STEP1:行政サービス体制の拡充		STEP2:対応の強化		STEP3:全庁的な定着			
	外国人市民に配慮した情報発信や窓口対応ができるためのルールや仕組みづくりを進めます。		外国人市民に配慮した対応ができる職員の育成に向けたスキルアップを図ります。		多文化共生を推進する市の職員として、一人一人が自覚し、適切な対応ができる体制づくりを進めます。			
関 連 実 施 計 画	実施計画事業名		達成状況		実施計画事業名		達成状況	
	外国人市民のための一元的情報提供・相談窓口の設置		A					
主 管 課 に よ る 一 次 評 価	STEP1の進捗状況		A		STEP2の進捗状況		B	
	【1.達成状況】 ・窓口と電話で常時対応できる通訳サービスを整備したことで通訳及び相談件数が大幅に増え、また迅速な支援ができた。 ・通訳サービスについて、窓口へのカード掲示や庁内通知等で周知を行った。				【1.達成状況】 ・行政書士の市民活動団体(AVS7)と、職員等を対象とした勉強会等に関する覚書の締結に向けて準備を進めた。 ・庁内研修(主事研修)で、やさしい日本語講座を実施した。			
	【2-1.課題】 ・市役所に常設の通訳サービスがあることをより多くの外国人市民に周知する必要がある。				【2-1.課題】 ・研修参加者や、通訳サービスを実際に利用した経験のある職員が限られている。			
	【2-2.課題への対応】 ・広報やホームページ、あやせトゥデイ(多言語情報紙)などでより多くの外国人市民に周知するとともに、連携機関を増やし相談機能を強化していく。				【2-2.課題への対応】 ・関係機関と連携して庁内研修を広く実施する。 ・通訳サービスを職員全員が認識し利用できるようにする。			
一 企 画 課 に よ る 一 次 評 価	STEP1の進捗状況		B		STEP2の進捗状況		B	
	常時対応可能な通訳サービスの整備により、外国人市民に配慮した窓口対応の仕組みづくりが進められている。 外国人市民への周知方法については、転入時の周知のほか、以前から居住している外国人市民に向けても引き続き周知に取り組むこと。				通訳サービスについて、職員への周知を進めるとともに、外国人市民に配慮した対応方法など多文化共生に関する職員研修にも取り組むこと。			
外 部 評 価	STEP1～3の進捗状況 (評価: B)							
	【評価コメント】 通訳サービスの整備により、着実に進められているため、B評価とする。 【要望・意見】 ○全庁的な実践的な対応については課題が残っているため、引き続き取り組んでいただきたい。							

【進捗状況A～D】

A:順調に推移した(目標達成又は進捗している)

C:進捗が遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)

B:一定の進捗がある(目標達成に向け一定の進捗がある)

D:進捗が大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)

総合計画進行管理シート

戦略 PJ名	育てる2 外国人市民が活躍する多文化 共生のまちづくりプロジェクト		主管課	市民活動推進課	関係課	—
-----------	--------------------------------------	--	-----	---------	-----	---

取り組みの方向		多文化共生の促進						
取り組みの展開								
内 容	STEP1:意識啓発		STEP2:活動の展開支援		STEP3:発展的な活動への支援			
	外国人市民への日本語・日本社会の理解促進を図るとともに、地域への共生意識の啓発を図ります。		交流の場の創出や自主的・自立的な多文化共生活動の展開への支援をします。		交流、相互理解による支え合い・高め合いができる新たな関係づくりを進めるとともに、そこから生まれる発展的な取り組みへの支援をします。			
関 連 実 施 計 画	実施計画事業名		達成状況		実施計画事業名		達成状況	
	外国人市民のための一元的情報提供・相談窓口の設置		A		日本語等の学習支援		A	
	親子交流による多文化共生の推進		A		あやせ国際フェスティバル		A	
	あやせウェルカムバックの配付		B					
主 管 課 に よ る 一 次 評 価	STEP1の進捗状況		B		STEP2の進捗状況		B	
	【1. 達成状況】 - 窓口と電話で常時対応できる通訳サービスを整備したことで通訳及び相談件数が大幅に増え、また迅速な支援ができた。 - 子ども向けにイベントを行うことにより、無関心層も含めイベントに参加促進を図ることができ、販売やワークショップ展示を通して外国人市民との交流を図ることができた。 - 多言語の生活ガイド「あやせウェルカムバック」は市内の学校や一部店舗への配布・配架のほか、市民課で転入・転居者にも配布し、広く周知を図ることができた。				【1. 達成状況】 - コロナの収束とともに日本語を学習する外国人市民が増え、共生の促進が図られた。また、講座を行うことでサポーターの疑問解消とスキルアップが図られた。 - ワークショップの増加やコンサートの開催によって飲食だけでなく、多文化交流を行うことができた。			
	【2 - 1. 課題】 - 市役所に常設の通訳サービスがあることをより多くの外国人市民に周知する必要がある。 - 単発企画であるフェスティバルをきっかけに定期的にワークショップ(料理教室等)やミニイベントを行い、より交流を図れる場の提供を行うことで頻繁な交流ないし、地域に溶け込む交流づくりを行う必要がある。 - 既に市内に住んでいる外国人市民へあやせウェルカムバックの周知及び配布手段を検討する必要がある。				【2 - 1. 課題】 - 日本語教室の講師が不足している教室がある。 - 日本人市民だけでなく、当事者の外国人市民の集客を図る必要がある。			
	【2 - 2. 課題への対応】 - 広報やホームページ、あやせトゥデイなどでより多くの外国人市民に周知するとともに、連携機関を増やし相談機能を強化していく。 - 今回の成功例をブラッシュアップしながら身近な地域交流に向けてイベントを行っていく。 - 広報やホームページ、あやせトゥデイなどウェルカムバックを必要とする外国人市民や支援者に周知を図る。				【2 - 2. 課題への対応】 - 開催場所の確保や財政支援に加え、講師募集・サポーターのスキルアップなど教室の運営継続のための支援をしていく。 - 集客力のある企画や外国人市民の参加等で多文化共生に関心の薄い層の集客を図っていく。			
企 画 課 に よ る 一 次 評 価	STEP1の進捗状況		B		STEP2の進捗状況		B	
	多言語生活ガイドの配布により意識啓発の取り組みができています。引き続き外国人市民への幅広い周知に取り組むこと。子ども向けイベントにすることで無関心層も交流の場に取り込む工夫は有効と考えられる。				日本語教室の実施やあやせ国際フェスティバルなどのイベント開催により、交流の場が創出されている。今後は自主的・自立的に活動できるよう、引き続き支援方法を検討すること。			
外 部 評 価	STEP1～3の進捗状況 (評価: B)							
	【評価コメント】 ステップ1の外国人市民への日本語・日本社会の理解促進、地域への共生意識の啓発については、取り組みが着実に進められている。ステップ2の交流の場の創出もできてきている。 【要望・意見】 ○ 今後は、多文化交流団体の自立かつ自主的な活動に向けて支援していくことを課題として取り組んでいただきたい。 ○ 子どもは日本語を話せるようになって、母親は日本語が分からないことも多い。大人を対象にした日本語学習支援も重点的に行っていただきたい。工場の一部で行われている教室はすばらしい取り組みだと思う。 ○ スマートフォン等の翻訳アプリの活用などコミュニケーションをとる工夫について、さらにPRしていただきたい。							

【進捗状況A～D】

A: 順調に推移した(目標達成又は進捗している)

C: 進捗が遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)

B: 一定の進捗がある(目標達成に向け一定の進捗がある)

D: 進捗が大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)

総合計画進行管理シート

戦略PJ名	育てる2 外国人市民が活躍する多文化共生のまちづくりプロジェクト			主管課	市民活動推進課	関係課	商業観光課
取り組みの方向		外国人市民等の活躍の支援					
取り組みの展開							
内容	STEP1:地域参加の促進		STEP2:主体的な参画の促進		STEP3:担い手の創出		
	外国人市民の地域活動等への参加促進や支援をします。また、外国人市民の創業等の支援体制を拡充します。		地域活動への主体的な参画促進や支援をします。また、交流の場として活用が期待される多国籍料理店等に対し、経営や多文化共生活動への支援をします。		地域活動の担い手としての定着支援・促進を図ります。		
関連実施計画	実施計画事業名	達成状況	実施計画事業名	達成状況	実施計画事業名	達成状況	
	親子交流による多文化共生の推進	A					
主管課による一次評価	STEP1の進捗状況	A	STEP2の進捗状況	B	STEP3の進捗状況		
	【1.達成状況】 ・子ども向けにイベントを行うことにより、無関心層も含めイベントに参加促進を図ることができ、販売やワークショップ展示を通して外国人市民との交流を図ることができた。 ・日本語が話せない外国人創業予定者に対して、通訳者を配置し、継続的な支援を実施した。		【1.達成状況】 ・自主防災訓練に一部の外国人市民が参加し始めている。 ・市内の大規模なイベントに出店する意欲的な外国籍料理店が出てきている。				
	【2-1.課題】 ・単発企画であるフェスティバルをきっかけに定期的にワークショップ(料理教室等)やミニイベントを行い、より交流を図れる場の提供を行うことで頻繁な交流ないし、地域に溶け込む交流づくりを行う必要がある。 ・日本語ができないまま創業しても、持続的な経営が困難なため、まずは、日本語をある程度習得する必要がある。		【2-1.課題】 ・自治会活動への外国人市民の参画は一部に見受けられるものの進んでいない。 ・多文化交流イベントへの外国籍料理店の出展は限られている。				
	【2-2.課題への対応】 ・今回の成功例をブラッシュアップしながら身近な地域交流に向けてイベントを行っていく。 ・日本語を習得することが、持続的な経営につながることを創業予定者等に啓発し、まずは、日本語習得を促進する周知を図っていく。		【2-2.課題への対応】 ・自治会と外国人市民の双方に対して、多文化共生のための研修や啓発活動を実施する。 ・多文化交流イベントにおいて外国籍料理店の出展を促進することで、イベント後も交流拠点として活用されることを目指す。				
企画課による一次評価	STEP1の進捗状況	A	STEP2の進捗状況	B	STEP3の進捗状況		
	市内に住む外国人と日本人の多文化親子交流事業を通して交流の場の創出や多文化共生活動の展開ができています。引き続き地域活動などへの参加の促進に取り組むこと。		地域活動への主体的な参画には、自治会など地域住民と外国人市民双方への働きかけが必要である。イベント等を活用し、多文化共生のための啓発に取り組むこと。 また、交流の場として期待される多国籍料理店に対し、イベント出展の促進や多文化交流活動の支援を検討すること。				
外部評価	STEP1～3の進捗状況 (評価: A)						
	【評価コメント】 進捗が順調であるためA評価とする。						
	【要望・意見】 ○イベントでは普段接することのない外国籍の子どもや母親と交流ができ、貴重な経験になる。また広めて続けていただきたい。 ○課題としては、交流イベントにおいてさらに積極的な外国人市民の関わりができるよう、いろいろな形の働きかけを行っていただきたい。 ○外国人市民も自分たちがどこまで関わり、加わっていいかわからないという人がいるだろう。そうした壁を行政の方から破っていく取り組みが必要だと思う。						

【進捗状況A～D】

A:順調に推移した(目標達成又は進捗している)
C:進捗が遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)

B:一定の進捗がある(目標達成に向け一定の進捗がある)
D:進捗が大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)

総合計画進行管理シート

戦略PJ名	稼ぐ2 あやせ工場プロジェクト		主管課	工業振興企業誘致課		関係課	-
取り組みの方向		技術力の向上に向けた支援					
取り組みの展開							
内容	STEP1:新たな事業展開への支援		STEP2:企業間連携の支援		STEP3:あやせ工場の企業力強化		
	新分野への参入、海外展開等への支援を強化し、新たな事業展開・取り組みを促進します。		新たな事業展開に対する支援強化と横展開の仕組みづくりを進めるとともに、企業間連携の支援をします。		企業間のネットワーク強化による共同受発注の実現等、あやせ工場として各企業の企業力を高める体制を構築します。		
関連実施計画	実施計画事業名	達成状況	実施計画事業名	達成状況	実施計画事業名	達成状況	
	中小企業強靱化推進補助金	B	あやせ工場スマートナビ運営事業	B			
	中小企業コンサルティング事業	B	あやせ工場オープンファクトリー補助事業	B			
	外国人高度人材の雇用支援	B					
主管課による一次評価	STEP1の進捗状況	B	STEP2の進捗状況	B	STEP3の進捗状況		
	【1.達成状況】 ・市内企業が培った技術とノウハウに最新設備の導入を加えることで、付加価値の高い製品の製造が可能となり、新分野(医療・半導体関係)への事業展開などを支援してきた。 ・人手不足を補うための機械化(自動化)が促進された。 ・経営基盤強化に資する外国人高度人材の雇用機会の創出(インターン)と財政支援を実施。		【1.達成状況】 ・企業間連携を促すため、綾瀬市工業のポータルサイト「あやせ工場スマートナビ」の運用をR4年1月より開始。 ・企業等の登録件数を開始時の157件から215件まで増やしたほか、登録企業の強みを発信する「かわら版」を制作し、登録企業にプッシュ型で配信する仕組みを実装。 ・直接工場を見ることが出来るオープンファクトリーを通じて、企業間で補助事業の共有から導入に至るケースや金型、部品などの受発注に繋がるケースが増えた。		【1.達成状況】		
	【2-1.課題】 ・企業規模により、申請書の内容に差があり、結果、採択される企業にやや偏りが見受けられる。 (実績) ▼R3 中小企業 5社/小規模企業 2社 ▼R4 中小企業 6社/小規模企業 1社 ▼R5 中小企業 8社/小規模企業 0社 ・外国人高度人材とのマッチングを意識している経営者が少ない。		【2-1.課題】 ・ポータルサイトだけで企業連携を図ることは難しく、リアルで繋げる仕組みづくりと併せて、活用していくことが求められる。		【2-1.課題】		
	【2-2.課題への対応】 ・小規模企業の採択事例をあやせ工場スマートナビなどで周知するとともに、コンサルティング事業や企業訪問などを通して、小規模企業でも経営戦略や計画などをしっかり構築することで、採択されることを意識付けさせる。 ・関係機関と連携し優秀な学生のインターンをきっかけに、知る機会を設け、採用に繋げる。		【2-2.課題への対応】 ・企業情報とものづくりの魅力に関する情報をプッシュ型でPRするプラットフォームとしてあやせ工場スマートナビを活用しながら、あやせ工場オープンファクトリー事業を通じて、参加企業間での直接的な交流・繋がりを創出していく。		【2-2.課題への対応】		
企画課による一次評価	STEP1の進捗状況	B	STEP2の進捗状況	B	STEP3の進捗状況		
	新分野への参入や機械化への支援を実施し、新たな事業展開が行われており、取り組みは順調に進んでいる。また、小規模企業の支援についても取り組み、採択に繋がられるよう進めていただきたい。		企業間連携に向けて、ポータルサイトを利用した情報発信が進められている。今後はサイトの有効活用とリアルで対面するイベント(あやせ工場オープンファクトリー)等の両面から企業間連携が進むよう取り組み、企業力の強化に向けて進めていただきたい。				
外部評価	STEP1～3の進捗状況 (評価: B)						
	【評価コメント】 着実に成果を上げながら取り組んできているため、B評価とする。さらにより高みを目指して取り組んでいただきたい。 【要望・意見】 ○本プロジェクトは県内でも力を入れて取り組まれているほうだと思う。 ○まだ伸びしろがあると感じているが、実施してきた取組はもう少し評価してよいと思う。 ○今は種まきの時期だと思うが、将来、実を結ぶよう努力して取り組んでいただきたい。						

【進捗状況A～D】
A:順調に推移した(目標達成又は進捗している)
C:進捗が遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)

B:一定の進捗がある(目標達成に向け一定の進捗がある)
D:進捗が大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)

総合計画進行管理シート

戦略PJ名	あやせ工場プロジェクト			主管課	工業振興企業誘致課		関係課	
取り組みの方向		「ものづくりのまち綾瀬」のブランド化促進						
取り組みの展開								
内容	STEP1:展開の強化			STEP2:ブランドの普及・定着			STEP3:ブランドの活用	
	PR強化や学校での学習機会の創出等による知名度向上とともに、made in ayase製品と連携したブランド発信の強化・仕組みづくりを進めます。			家庭やイベント等さまざまな場面でmade in ayase製品が使用される仕組みづくり、ブランドによる地域への愛着・誇りの醸成を図ります。			ブランドを活用した市内企業の競争力の強化や、新たな担い手の確保につながる仕組みづくりを進めます。	
関連実施計画	実施計画事業名		達成状況	実施計画事業名		達成状況	実施計画事業名	
	綾瀬ブランド新商品開発事業補助金		B					
	あやせ工場オープンファクトリー補助事業		B					
主管課による一次評価	STEP1の進捗状況		B	STEP2の進捗状況			STEP3の進捗状況	
	【1.達成状況】 ・「ものづくり研究会」として、4社4シリーズでBtoC製品（一般消費者向け製品）を開発、製造、販売。 ・市内小中学校の副読本に掲載するとともに、主に小学校の工場見学などを実施。 ・あやせ工場オープンファクトリーや産業まつりのほか、こどものまち「ミニあやせ」への参画などによりPRを図った。			【1.達成状況】			【1.達成状況】	
	【2-1.課題】 ・ブランド力を高めるための仕掛けが必要。 ・市内の製造業でBtoC製品開発に挑戦している企業が一定数あるものの、集約化されていない。			【2-1.課題】			【2-1.課題】	
	【2-2.課題への対応】 ・BtoC製品について、海外での展開による新たな販路や将来的なインバウンドなどを狙うため、JETRO（日本貿易振興機構）と連携し、海外販路展開を企画。 ・R6から市内製造業でBtoC製品開発に挑戦する企業を集約し、市内全体でPRを図る。			【2-2.課題への対応】			【2-2.課題への対応】	
企画課による二次評価	STEP1の進捗状況		B	STEP2の進捗状況			STEP3の進捗状況	
	BtoC商品の開発・販売、あやせ工場オープンファクトリーの開催、学校との連携を通して一般消費者に向けたPRが順調に行われている。引き続き、「ものづくりのまち綾瀬」として、学校との連携を通して地域での知名度向上や愛着・誇りの醸成を図るとともに、市外へ広くPRを行い、普及・定着に向けて進めていただきたい。							
外部評価	STEP1～3の進捗状況（評価： B ）							
	【評価コメント】 着実に取組の成果を上げており、B評価とする。課題解決に向けて、さらに取組を進めていただきたい。							
	【要望・意見】 ○学校との連携を通して、子どもたちが工業に関心を持ち、将来的に綾瀬のものづくりが進んでいけばいいと思う。 ○ブランディングの際には綾瀬の企業集積の歴史も分かりやすく紹介することが大切。							

【進捗状況A～D】
A:順調に推移した(目標達成又は進捗している)
C:進捗が遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)

B:一定の進捗がある(目標達成に向け一定の進捗がある)
D:進捗が大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)

総合計画進行管理シート

戦略PJ名	あやせ工場プロジェクト		主管課	工業振興企業誘致課	関係課	-
-------	-------------	--	-----	-----------	-----	---

取り組みの方向		担い手づくりへの支援				
取り組みの展開						
内容	STEP1:育成への支援		STEP2:活躍への支援		STEP3:発展的な活動への支援	
	担い手として定着するための支援や、育成、ネットワークづくりへの支援等、次世代の担い手が働きやすい環境や体制づくりを進めます。		技術や能力の向上等、次世代の担い手が職場で活躍するための支援をします。		次世代の担い手の独自の取り組みや、担い手育成の横展開への支援をします。	
関連実施計画	実施計画事業名	達成状況	実施計画事業名	達成状況	実施計画事業名	達成状況
	若手技術者ネットワーク構築事業	B	あやせ工場技能継承事業(工匠塾)	B		
主管課による一次評価	STEP1の進捗状況	B	STEP2の進捗状況	B	STEP3の進捗状況	
	【1.達成状況】 ・次世代を担うものづくり人材の定着のため、企業の垣根を超えた仲間づくりを目指し、あやせ工場合同入社式、研修(新潟燕市宿泊研修・ビジネスマナー・生産活動基礎研修・ミニ四駆特別研修等)を実施。 (R5は9社25名参加/R6は13社40名参加) ・基礎スキル向上のため、基礎研修終了後、下半期でQC検定(品質管理検定)対策講座を実施(3月に4級を受験)		【1.達成状況】 ・市内企業に多い要素技術である「溶接」と「板金」技能について、それぞれ市内企業の卓越技能者から直接「勘所」を指導してもらう実践型プログラムを実施。 (実績) R5年実績まで ▼溶接 延べ35社44名(H29年度～) ▼板金 延べ21社26名(R元年度～)		【1.達成状況】	
	【2-1.課題】 ・売手市場、若年層の転職志向などにより、企業や行政等が定着のための環境整備をいくら整えても、最終的には、本人の意思により、離職するケースが多い。		【2-1.課題】 ・「技術」を身につけ、それを高めていきたいと考える若手従業員が少ない。		【2-1.課題】	
	【2-2.課題への対応】 ・合同入社式や研修での横の繋がりをつくりながら、勤続年数に応じた「役職別研修」や「表彰制度」を設けることで、在籍している方々のスキルアップやモチベーションを高める仕組みを構築する。		【2-2.課題への対応】 ・独立した事業から、あやせ工場合同研修に参加した新入社員のうち、製造現場に従事する方を対象に実技の基礎研修として位置付け企画する。 ・過去の参加者を対象に経験年数に応じた、応用編実践講座として企画する。		【2-2.課題への対応】	
企画課による一次評価	STEP1の進捗状況	B	STEP2の進捗状況	B	STEP3の進捗状況	
	次世代の担い手の定着のため、各種研修や企業を超えたネットワークづくりを進められている。引き続き、働きやすい環境づくりを支援し、スキルアップ、モチベーションを高め、担い手の定着につながるよう取り組みを進めていきたい。		若手技術者の能力向上のため事業手法を検討するなどして取り組みを順調に進めている。引き続き、参加企業の意見も汲みながら担い手への支援に取り組むこと。			
外部評価	STEP1～3の進捗状況 (評価: B)					
	【評価コメント】 一定の進捗があるためB評価とする。 【要望・意見】 ○ 高校や大学など高等教育機関との連携の取組をさらに進めていただきたい。 ○ 中小企業には、大企業にはない柔軟性があり、その強みを生かしてもらいたい。 ○ 市内の優良事業所の取組を顕彰し、周知していくような工夫を行うことを望む。 ○ オープンファクトリーの一体感は大きな魅力で誇りである。担い手づくりの支援にもつながるため、さらに対外的にPRしてはどうか。					

[進捗状況A～D]
A:順調に推移した(目標達成又は進捗している)
C:進捗が遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)

B:一定の進捗がある(目標達成に向け一定の進捗がある)
D:進捗が大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)

総合計画進行管理シート

戦略PJ名	支える3 大規模自然災害対策プロジェクト			主管課	危機管理課	関係課	下水道課
取り組みの方向		地域の防災・減災力の向上					
取り組みの展開							
内容	STEP1:市民等への防災意識啓発の強化		STEP2:担い手の拡充		STEP3:新たな地域防災の仕組みづくり		
	防災訓練等を通じた意識啓発の強化、防災教育の推進等により、防災意識の向上を図ります。また、避難所、防災倉庫、備蓄の充実・見直し等を進めます。		自主防災組織への支援や防災リーダーの育成・活動支援等により、地域防災の担い手の育成・拡充と共助の体制づくりを進めます。		一人一人の高い自助意識を基に、地域の共助の体制を生かした新たな地域防災の仕組みづくりを検討・推進します。		
関連実施計画	実施計画事業名	達成状況	実施計画事業名	達成状況	実施計画事業名	達成状況	
	防災意識啓発	B					
	防災ハザードマップの更新	B					
	避難所用ポータブル蓄電池整備	B					
主管課による一次評価	STEP1の進捗状況		STEP2の進捗状況		STEP3の進捗状況		
	B		C				
	【1.達成状況】 防災訓練や講演会、防災講座等を通じて、防災意識を啓発することができた。 また、避難所においての充電問題を解決するため太陽光による再充電が可能なポータブル蓄電池を配備して、備蓄等の充実を図った。		【1.達成状況】 地域防災リーダーは新たに令和4年度は22人、令和5年度は6人を認定し、129人となった。 また、各避難所運営委員会による会議を毎年1回以上実施している。				
	【2-1.課題】 備蓄等の増備をする上で、防災倉庫には既に保管しているものがあり、新たな備蓄をするためのスペース確保が必要。またベッド等の長期間滞在するための資機材を十分な数量確保できていない。さらには、備蓄資機材の老朽化や近年の災害の教訓をふまえて資機材の見直しを図る必要がある。		【2-1.課題】 地域防災リーダーについて、認定している人数については増加傾向にあるが、具体的な役割を与えられていない。 避難所運営委員会は組織はできているが、避難所運営の中身を検討する場となっていない。		【2-1.課題】		
企画課による二次評価	STEP1の進捗状況		STEP2の進捗状況		STEP3の進捗状況		
	B		C				
	防災ハザードマップの全戸配布、防災訓練や講演会の実施、小・中学生を対象とした防災教育の推進を通じて、防災意識の啓発が進められている。 避難所等の防災資機材の見直し、備蓄スペースの確保については、近年の災害の教訓を踏まえて取り組みを進めていただきたい。		避難所運営を担う避難所運営委員会や地域防災リーダーの活動の支援に取り組み、地域防災の担い手の育成・拡充と共助の体制づくりを進めていただきたい。				
	STEP1～3の進捗状況（評価： B ）						
外部評価	【評価コメント】 ハザードマップの更新、小中学校と連携した防災教育の推進など、取組内容は一定の進捗をしていることから、ステップ1「市民等への防災意識啓発の強化」、ステップ2「担い手の拡充」をあわせてB評価とする。ただし、ステップ2「担い手の拡充」について、地域防災リーダーの課題や、地域防災の担い手の育成・拡充と教育の体制づくりの課題には今後対応していただきたい。						
	【要望・意見】 ○新しいハザードマップは二次元コードから河川の状況も確認できるなど、地域の情報が多くすばらしい。 ○小中学校との連携については、消防署見学やAED体験など防災教育の推進に協力して取り組んでいる実感がある。 ○備蓄等の増備、備蓄スペースの確保については早急に取り組んでいただきたい。 ○自治会に加入していない市民への普及啓発、情報提供、さらに防災活動への参画をどう促進するか、意識して引き続き取り組んでいただきたい。 ○市民に正しい情報を提供し、市民の意識啓発をどのように市が推進するかが重要。						

〔進捗状況A～D〕

A:順調に推移した(目標達成又は進捗している)

C:進捗が遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)

B:一定の進捗がある(目標達成に向け一定の進捗がある)

D:進捗が大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)

総合計画進行管理シート

戦略PJ名	支える3 大規模自然災害対策プロジェクト		主管課	危機管理課	関係課	消防総務課
-------	----------------------	--	-----	-------	-----	-------

取り組みの方向		復旧・復興対策の充実								
取り組みの展開										
内容	STEP1:復旧・復興体制の整備		STEP2:円滑な復旧・復興体制の構築		STEP3:実施に向けた体制整備					
	地域防災計画の復旧・復興計画見直しや災害廃棄物処理計画の運用等による復旧・復興体制の整備を進めます。		他の自治体、関係事業者及び災害ボランティアとの連携を図る等、迅速かつ円滑な復旧・復興体制を構築します。		速やかな対応に向けて、災害対策本部を中心とした体制を整備するとともに、復旧・復興訓練等の実践的な取り組みを進めます。					
関連実施計画	実施計画事業名		達成状況		実施計画事業名		達成状況			
	災害用ドローン整備事業		B							
主管課による一次評価	STEP1の進捗状況		C		STEP2の進捗状況		C		STEP3の進捗状況	
	【1.達成状況】 地域防災計画については、関連上位規則(防災基本計画や県地域防災計画)等の変更内容のうち必要な内容を反映し毎年修正を行っている。				【1.達成状況】 近隣市及び遠方市との相互応援協定、事業者との応急復旧業務協定や物資供給等の協定等を締結している。				【1.達成状況】	
	【2-1.課題】 近年の市総合防災訓練は「避難所開設訓練」に特化した内容となっており、復旧・復興にかかる計画の見直しや庁内訓練がなされていないため、そのノウハウが失われつつある。 災害対策本部及び各災害対策部の運用要領が確立されていない。				【2-1.課題】 STEP1と同様、平時から関係団体等との連携や訓練がなされていないため、ノウハウが失われつつある。 また、他市町村や関係機関からの応援を円滑に受け入れるための受援計画が策定されていない。				【2-1.課題】	
	【2-2.課題への対応】 令和6年度から3か年で実施する綾瀬市地域防災計画等改訂業務委託の中で地域防災計画等の根本的な見直しを行う。 業務委託の中で、併せて実効性あるマニュアルを作成するとともに、継続的に訓練ができる体制を構築することで、庁内の災害復旧対応力の向上を図る。				【2-2.課題への対応】 業務委託の中で受援計画を策定するとともに、平時から関係団体等との円滑な連携を確保するために、平時における災害復旧に関する分掌事務の責任の所在を明確化することで有事の際に真に機能する体制の構築を図る。				【2-2.課題への対応】	
企画課による一次評価	STEP1の進捗状況		C		STEP2の進捗状況		C		STEP3の進捗状況	
	地域防災計画や業務継続計画など防災に関する各種計画の抜本的な見直しを行い、実効性のある計画やマニュアルの作成を進めること。災害対策本部や各災害対策部の形骸化している運用要領やマニュアルも見直す必要がある。 庁内全体の災害対応力の向上に取り組み、復旧・復興体制の整備を進めること。				他市との相互応援協定や事業者との応急復旧業務協定や物資供給等の協定等を締結しているが、応援を円滑に受け入れるためには受援計画の策定に取り組む必要がある。 非常時にきちんと機能するよう、他の自治体、関係事業者等との連携を取り、訓練を実施する等、復旧・復興体制の構築に取り組むこと。					
外部評価	STEP1～3の進捗状況 (評価: C)									
	【評価コメント】 主管課の課題認識及び課題への対応については妥当と考え、C評価とする。 【要望・意見】 ○防災計画の見直しについては緊急度の順番も考慮し、スケジュールングを大切にいただきたい。 ○市内の学校、団体、他の自治体、関係事業者に加えて、関係機関等とも連携を取り、課題解決に向けて取り組んでいただきたい。									

【進捗状況A～D】

- A: 順調に推移した(目標達成又は進捗している)
C: 進捗が遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)

- B: 一定の進捗がある(目標達成に向け一定の進捗がある)
D: 進捗が大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)

総合計画進行管理シート

戦略PJ名	支える4誰もが便利な移動手段強化プロジェクト			主管課	都市整備課	関係課	福祉総務課・道路整備課・都市計画課		
取り組みの方向		公共交通の利便性向上							
取り組みの展開									
内容	STEP1:公共交通の検証			STEP2:公共交通の再編		STEP3:利便性向上の仕組みづくり			
	コミュニティバスルートの再検証やバス事業者との調整等による、公共交通の利便性向上の検証と、スマートIC開通後の動向を踏まえた、道路交通環境の向上に向けた検討を進めます。			コミュニティバスの見直しやバス事業者との調整等による市内公共交通の再編を行います。また、道路交通環境の向上に向けた整備を進めます。		利便性向上に向けた市内公共交通の再編の推進とその効果を最大限に生かす仕組みづくりを進めます。			
関連実施計画	実施計画事業名		達成状況	実施計画事業名		達成状況	実施計画事業名		
	コミュニティバス運行の見直し検討業務		B						
	幹線道路等整備事業		B						
主管課による一次評価	STEP1の進捗状況		B	STEP2の進捗状況			STEP3の進捗状況		
	【1.達成状況】 ・無作為の市民6,000人へ公共交通アンケートを行い、再編方針を作成した。再編方針を基にコミュニティバス利用者、主要施設利用者へヒアリング調査を行い、運行計画(素案)を作成した。			【1.達成状況】			【1.達成状況】		
	【2-1.課題】 ・市内公共交通については、約96%の住民が路線バスとコミュニティバスのバス停から300m以内の徒歩圏内に居住しているが、バスの本数が少ない、高齢化により自宅からバス停までやバス停から目的地までが負担に感じる、路線バスとコミュニティバスの運賃格差に不満があるといった課題がある。			【2-1.課題】			【2-1.課題】		
	【2-2.課題への対応】 ・AIデマンド交通をはじめとした新たな公共交通の導入、コミュニティバスの運賃改正、路線バス利用者への補助等の取組みを実施するため、公共交通運行事業者と調整を行う。			【2-2.課題への対応】			【2-2.課題への対応】		
企画課による一次評価	STEP1の進捗状況		B	STEP2の進捗状況			STEP3の進捗状況		
	コミュニティバスの見直しについては、運行計画素案を作成するなど取り組みが進められている。今後は「STEP2 公共交通の再編」に向け、利便性の向上のため関係事業者との調整を進めること。								
外部評価	STEP1～3の進捗状況 (評価: B)								
	【評価コメント】 現状の公共交通の検証、特にコミュニティバス運行の見直しについてどう考えるべきかとして、主管課の課題認識や課題への対応は適正であり、進捗状況はB評価とする。								
	【要望・意見】 ○市役所・保健福祉プラザ間の移動について、利便性向上をお願いしたい。 ○市役所や病院、商店を集約して、そこへバス路線を設定できればいいと思う。 ○高齢者でも安全に運転できる技術を取り入れた自動車への補助などはどうだろうか。 ○公共交通は長期的なまちづくりや都市計画も絡めてどのように整備していくかが大切。								

【進捗状況A～D】

- A:順調に推移した(目標達成又は進捗している)
- B:一定の進捗がある(目標達成に向け一定の進捗がある)
- C:進捗が遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)
- D:進捗が大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)

総合計画進行管理シート

戦略PJ名	支える4誰もが便利な移動手段強化プロジェクト			主管課	都市整備課	関係課	福祉総務課・道路整備課・都市計画課		
取り組みの方向		複合的な交通手段の展開							
取り組みの展開									
内容	STEP1:調査・研究			STEP2:実証実験		STEP3:ネットワークの構築			
	リムジンバスの誘導を行うとともに、幹線バス導入に向けた調査・研究体制の構築を進めます。			幹線バス導入に向けた実証実験の開始や、効果的な導入に向けた検討・調整を進めます。		大幅な市内交通の利便性の向上につながる、複合的な交通手段導入の効果を最大限に発揮できる交通ネットワークを構築します。			
関連実施計画	実施計画事業名		達成状況	実施計画事業名		達成状況	実施計画事業名		達成状況
	綾瀬市総合都市交通計画改定業務		B						
主管課による一次評価	STEP1の進捗状況		B	STEP2の進捗状況			STEP3の進捗状況		
	【1.達成状況】 ・リムジンバス誘導、幹線バス導入に向けた調査・研究を継続して行っている。 ・市民アンケートの結果、日常生活における買い物や病院等を利用するためのより細かな交通需要を確認した事から、新たな交通手段を含めた複合的な交通手段導入に向けた調査・研究の必要性が確認できた。			【1.達成状況】			【2.達成状況】		
	【2-1.課題】 ・交通事業者は2024年問題により、路線バスの維持にも苦慮しており、リムジンバス誘導は困難な状況。 ・新たな交通手段導入については、多様化する市民ニーズに適合する交通プランの継続可能な運営スキーム確認調整、路線バスを始めとした既存公共交通の民業圧迫等への配慮及び地域公共交通会議等での官、民、市民及び労働団体の確認が必要。			【2-1.課題】			【2-1.課題】		
	【2-2.課題への対応】 ・労働環境を含めた社会環境の変化に注視しつつ、幹線バス導入に向けた利用者の創造に向けた取り組みを継続して行う。 ・自動運転、AIデマンド交通、シェアサイクル等の新たな交通手段導入について、公共交通事業者と調査・研究を進める。			【2-2.課題への対応】			【2-3.課題への対応】		
企画課による一次評価	STEP1の進捗状況		C	STEP2の進捗状況			STEP3の進捗状況		
	2024年問題により交通事業者が人員確保できず減便が発生するなど、総合計画策定時から社会環境の大きな変化が起きている。市民のニーズや社会の変化に対応した新たな交通手段導入について、調査研究を進めること。								
外部評価	STEP1～3の進捗状況（評価：B）								
	【評価コメント】 主管課の課題認識及び課題への対応は妥当であるため、B評価とする。								
	【要望・意見】 ○総合計画を策定したときから社会環境も変化してきているので、新たな交通手段導入については、さらに調査研究を進めていただきたい。 ○空港へのリムジンバスは無理に導入しなくてよいのではないか。 ○シェアサイクルについては、三輪や電動自転車など高齢者も利用しやすい工夫があるとよいのではないか。								

【進捗状況A～D】

A:順調に推移した(目標達成又は進捗している)
C:進捗が遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)

B:一定の進捗がある(目標達成に向け一定の進捗がある)
D:進捗が大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)

総合計画進行管理シート

戦略PJ名	支える4誰もが便利な移動手段強化プロジェクト		主管課	都市整備課	関係課	福祉総務課・道路整備課・都市計画課		
取り組みの方向		地域における移動手段の充実						
取り組みの展開								
内容	STEP1:実施主体の育成・支援		STEP2:取り組みの展開・拡大		STEP3:継続支援			
	地域における住民参加型移動支援等を行う人材の育成や組織への側面的支援による、取り組みの促進を図ります。		地域における住民参加型移動支援等の新たな担い手づくりや取り組みの全市的な拡大を図ります。		地域における住民参加型移動支援等の継続性確保のための支援、自立に向けた仕組みづくりを進めます。			
実施関連計画	実施計画事業名		達成状況	実施計画事業名		達成状況	実施計画事業名	
	福祉団体育成事業(地域における移動手段の充実)		B	福祉団体育成事業(地域における移動手段の充実)		B		
主管課による一次評価	STEP1の進捗状況		B	STEP2の進捗状況		B	STEP3の進捗状況	
	【1.達成状況】 ・国土交通大臣認定の運転者講習を3回開催し、地域における住民参加型移動支援等を行う人材の育成を進めた。 受講者数 32名(うち移動支援事業に参加し、活動している方 17名) ・移動支援事業実施団体に活動に要する経費の一部を補助するとともに、移動支援事業用の公用車の貸出しを行い、活動を安定して進めるための側面的な支援を行った。 補助金の交付 必要経費の2/3 (R5に上限額を拡充 35万円→50万円) 公用車の貸出 123回(燃料費も無償化)			【1.達成状況】 ・移動支援事業の実施を目指す団体への立上げ支援(専門のコーディネーターによる試験運行や組織体制整備等の相談対応)により、事業実施団体(補助申請件数)も増加し、移動支援事業の実施地域も着実に拡大している。 (R3 2団体→R4 3団体→R5 4団体)			【1.達成状況】	
	【2-1.課題】 ・人材の育成については、団体の立上げ当初から活動している方々の高齢化により、今後、担い手の不足が懸念される。事業の継続的な実施や団体の自立を促すためにも、団体をまとめる代表者の後継や若い世代の担い手を確保していく必要がある。 ・公用車の貸出については、団体の活動の活発化や事業実施団体の増加により、利用回数が増加。利用希望日に車両が使用できないなど、利用調整が困難になってきている。(R3 33回→R4 102回→R5 123回) ・貸出公用車はステップや手すり設置されている福祉仕様の車両であり、事故や車両故障の際の代替車両がなく、各団体の安定した事業運営のため、車両の確保や整備を進める必要がある。			【2-1.課題】 ・地域により、外出支援(買い物支援)の需要や地域で活動する団体の状況等が異なることから、全市的な拡大に向け、地域ごとの状況把握を進める必要がある。			【2-1.課題】	
	【2-2.課題への対応】 ・運転員講習の受講者を各団体の事業への参加につなげられるよう、今後も無償での運転者講習を継続して実施していく。 ・事業実施団体へのヒアリングを行い、車両確保に係る現状や課題を把握し、車両確保支援策の検討、支援を進める。			【2-2.課題への対応】 ・社協等、他機関との連携により、地域団体へのヒアリング等を行い、地域の外出支援に係る課題や地域団体の状況の把握を進めるとともに、地域に継続的な事業の周知と必要性を広め、事業実施に向けた働きかけを進める。			【2-2.課題への対応】	
企画課による二次評価	STEP1の進捗状況		B	STEP2の進捗状況		B	STEP3の進捗状況	
	住民参加型移動支援の担い手育成や団体への支援を実施し、貸し出し公用車の利用回数も増加しており、取り組みは順調に進んでいる。			移動支援団体の立ち上げ支援にも成功しており、実施団体・実施地域が増加している。引き続き、団体への支援を行うとともに、未実施地域の状況把握や働きかけを進めていただきたい。				
外部評価	STEP1～3の進捗状況 (評価: B)							
	【評価コメント】 主管課の課題の認識、課題への対応は適正であると判断し、進捗状況はB評価とする。 【要望・意見】 ○引き続き、課題への対応について他機関との連携や団体支援にしっかり取り組んでいただきたい。							

【進捗状況A～D】
A:順調に推移した(目標達成又は進捗している)
C:進捗が遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)

B:一定の進捗がある(目標達成に向け一定の進捗がある)
D:進捗が大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)